

「科学技術イノベーションの推進に向けた重要課題」 概要

2011年10月18日
(社)日本経済団体連合会

I. はじめに(基本認識)

- 第4期科学技術基本計画では、課題解決型の「科学技術イノベーション政策」の推進等が謳われ、今後は具体化が重要。産業界として特に重要と考え、かつ主体的に関与する意欲のある課題を提示。
- 「政府研究開発投資対GDP比1%、総額約25兆円」の予算目標を着実に達成すべき。

II. 解決すべき重要課題と具体的施策

1. 強靱かつ柔軟(レジリエント)な社会の構築

- (1) レジリエントなICT基盤の構築
- ① 災害予測及びモニタリングシステム
 - ② 災害時でもつながる情報通信ネットワーク
 - ③ クラウドの活用を通じた個人の行政情報管理システム
- (2) 災害対応ロボットと運用システムの整備
被災地で使用する機動力のあるロボット

3. ライフイノベーションの推進

- ① 予防医療(先制医療)
バイオマーカー(体内変化を測る生体物質)に関する研究開発
- ② テーラーメイド治療
遺伝子・タンパク質レベルの解析に基づく治療
- ③ 革新的医薬品・医療機器
癌・認知症等に対する医薬品や超早期診断機器
- ④ 次世代医療・健康システム
医療情報の電子化や医療機関間のICTネットワーク化

2. グリーンイノベーションの推進

- (1) 革新的な創エネルギー技術〔供給面〕
- ① 太陽電池の高効率化・低コスト化
 - ② 火力発電の高効率化とCCS(CO2分離・回収・貯留)
 - ③ 原子力発電の安全性向上
 - ④ バイオマス(微細藻類を利用した燃料)
- (2) エネルギー・資源の高効率利用技術〔需要面〕
- ① 次世代高効率空調・冷凍システム
 - ② 炭素繊維による材料の軽量化
 - ③ 次世代自動車の高性能化(リチウムイオン電池)
 - ④ グリーンパワーエレクトロニクス
 - ⑤ 有機系基幹原料のソースの多様化
 - ⑥ モーターからのレアアース回収及び省・脱レアアース
- (3) エネルギーマネジメントシステムの構築
スマートグリッド

III. 東北地方におけるイノベーション拠点の形成

- ① 再生可能エネルギーの研究開発拠点
特区として、内外の企業や研究機関を集積
- ② 健康医療都市
特区として、医療産業等を集積
- ③ 地域の強みを活かした研究開発拠点
材料や電子デバイス分野で集積

IV. 次世代人材の育成

- ① 初等中等教育における理科離れの防止
企業の人材が直接関わる体制の整備
- ② 企業等で活躍できる高度理工系人材の育成
インターンシップ制度の拡充等

V. おわりに

- 課題解決に向けた施策を、産学官及び府省庁間の枠を超えたオールジャパン体制で推進。
- 強力な司令塔機能を持つ「科学技術イノベーション戦略本部」、産業界の意見が反映される「科学技術イノベーション戦略協議会」、国家的な政策課題の解決に資する「研究開発法人」が必要。